

ICT街づくり推進事業 地域懇談会

**豊麗のしま - 久米島
地域経済活性化プロジェクト**

平成26年4月3日

久米島町

日本電気株式会社

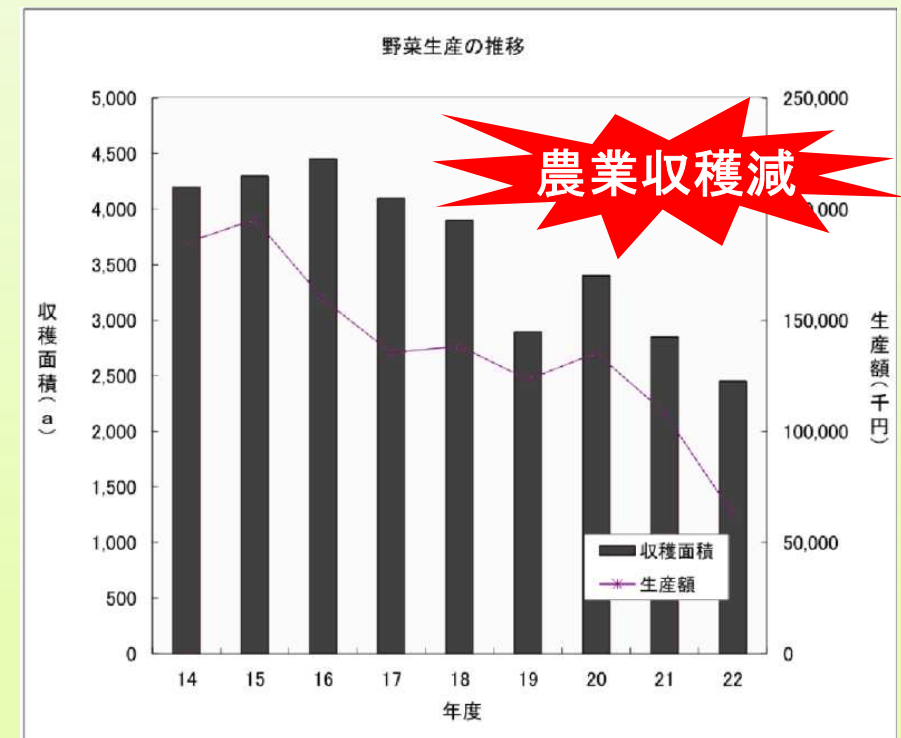
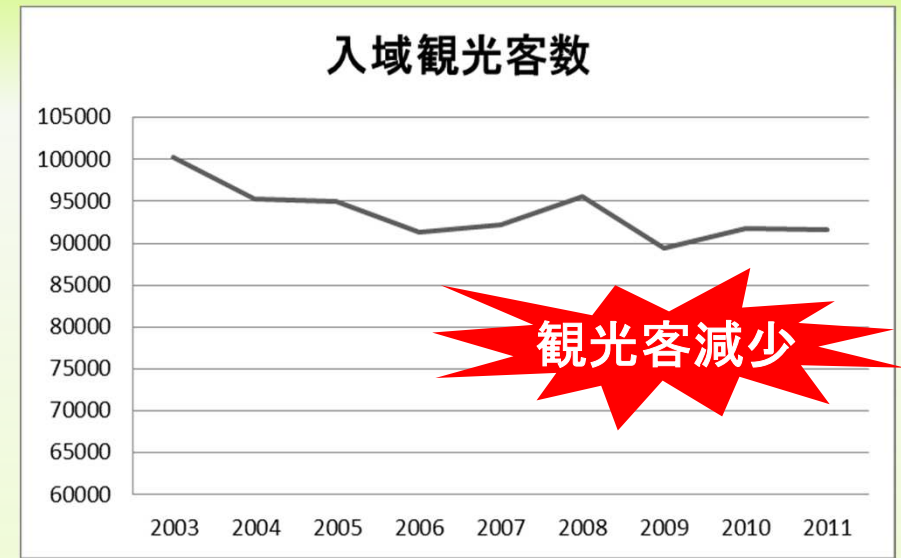
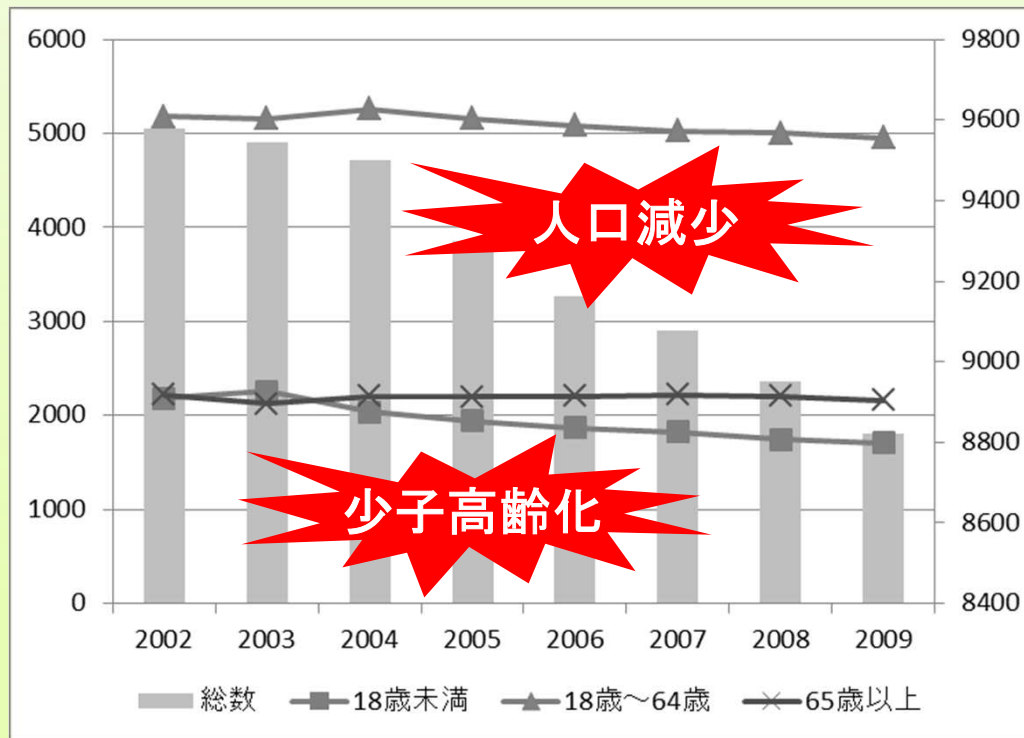
久米島町の概要

- 人口 8,366人 3,943世帯（2014年2月末現在）
- 面積 59.11km²
- 位置 沖縄本島の西約100km
- 平均気温 23.2℃



久米島町の課題

- 出生率（全国2位）は高いが毎年約100人ずつ減少（高校卒業とともに当該に流出）
- 主要産業（農業、観光）の停滞



久米島町の取組

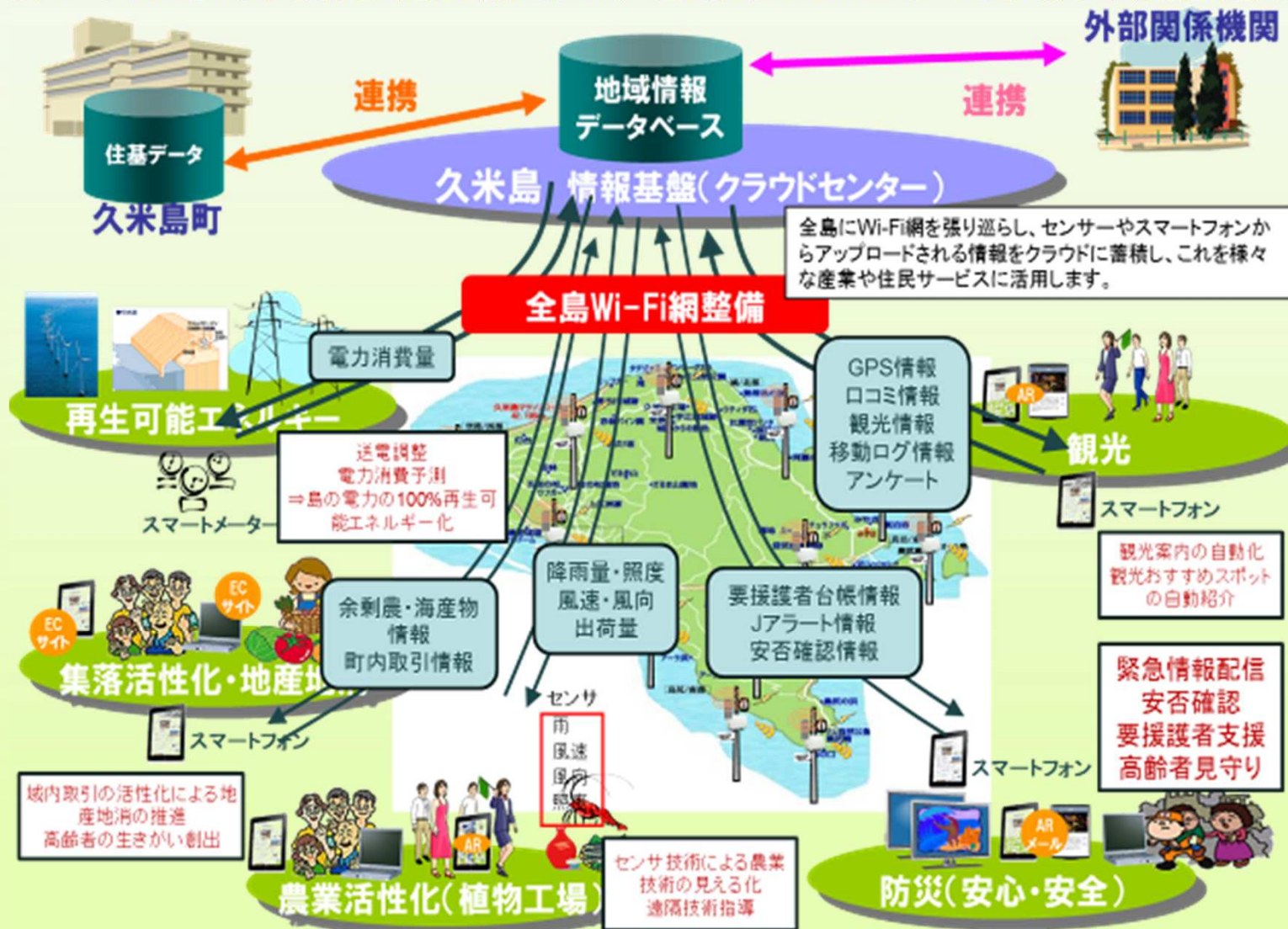
久米島町においては、海洋温度差発電と海洋深層水の複合利用による産業創出の成功を皮切りに、離島という地勢的条件を最大限に活用した世界最先端の取組となる下記の5事業を強力に推し進めることで、新産業と「しま」の雇用の創出による「しま」の定住人口・交流人口の増加を目指しています。

既存事業	推進事業(5本柱)	事業目標／効果	事業の現状
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">海洋温度差発電</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">海洋深層水の複合利用による産業創出</p>	<p>世界初の島の電力の100%再生可能エネルギー化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 島の電力(10メガワット)の100%再生可能エネルギー化 全島スマートグリッドの導入 停電のない島 海洋資源利用等の関連産業の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 0.5メガワットの実証実験施設稼働開始済 H25海洋再生可能エネルギー実証フィールドへの立候補(内閣官房)
	<p>世界初の全島WiFiによる情報システム基盤整備(通称:全島WiFi)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 住民サービスの充実による安全安心社会の実現(防災、福祉、医療、教育他) 観光客、企業の利便性向上(インターネット環境の強化) 	<ul style="list-style-type: none"> H25総務省ICT街づくり推進事業採択済
	<p>世界初の自動走行車両の交通管制システム実証実験(通称:久米モビ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界初最先端技術の実証 研究施設、関連企業の誘致 交通弱者の移動手段の確保 観光、資材、流通等の関連産業の育成 	<ul style="list-style-type: none"> H25特定地域再生計画(内閣府)認定済 H25特定地域再生事業費補助金(内閣府)採択済
	<p>世界初の海洋深層水を使った植物工場と冷蔵コンテナによるコールドチェーン構築(通称:久米アグ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 島の農業の活性化 島内における野菜の安定供給 島外への付加価値野菜の供給 	<ul style="list-style-type: none"> H24久米島町24年度一括交付金(繰越)によるFS調査事業開始(~3月末終了予定)
	<p>日本一の先進的な離島ICT教育モデルの構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> 久米島と周辺離島、沖縄本島、本土、海外を結んだ児童・生徒間の教え合いによる学力向上と情報格差の是正 琉球大学サテライトキャンパスの誘致 全児童へのタブレット配布 	<ul style="list-style-type: none"> H25国家戦略特区に申請済 H26総務省の教育情報化予算確保の打診予定

ICT街づくり事業の成果

事業概要

- 久米島町の人口の約四分の一を占める高齢者が元気になる仕組み(地産地消推進、高齢者見守り)作りとICTによる観光客の受け入れ態勢の構築、産業観光への取組、安心・安全な街づくりにより、観光の誘致により、地域のコミュニティと経済の活性化を図る。

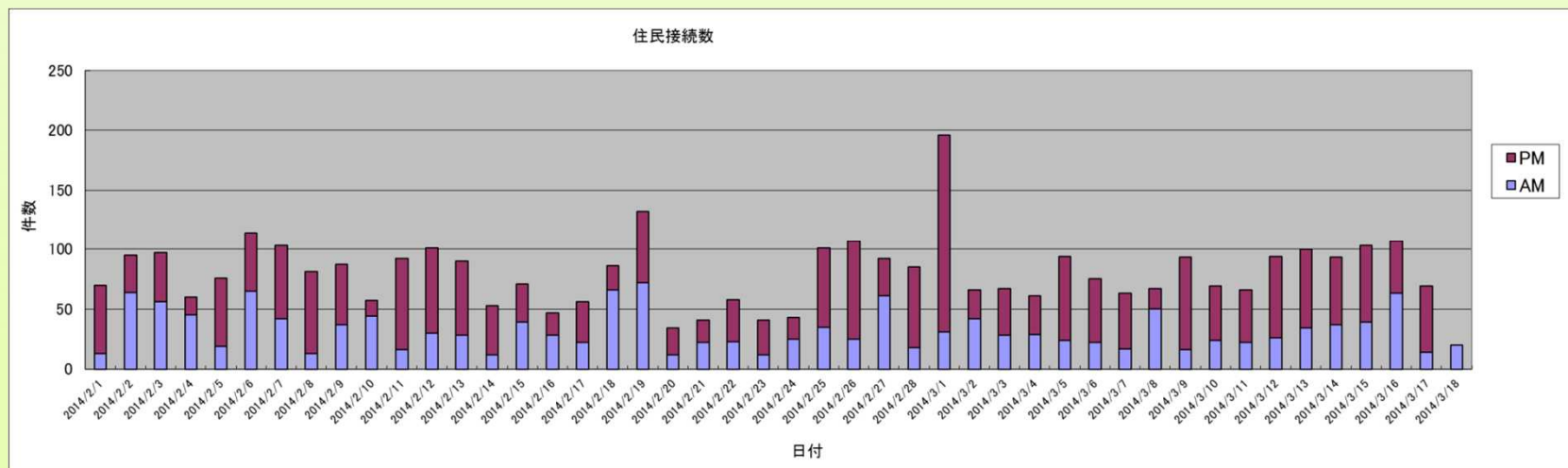
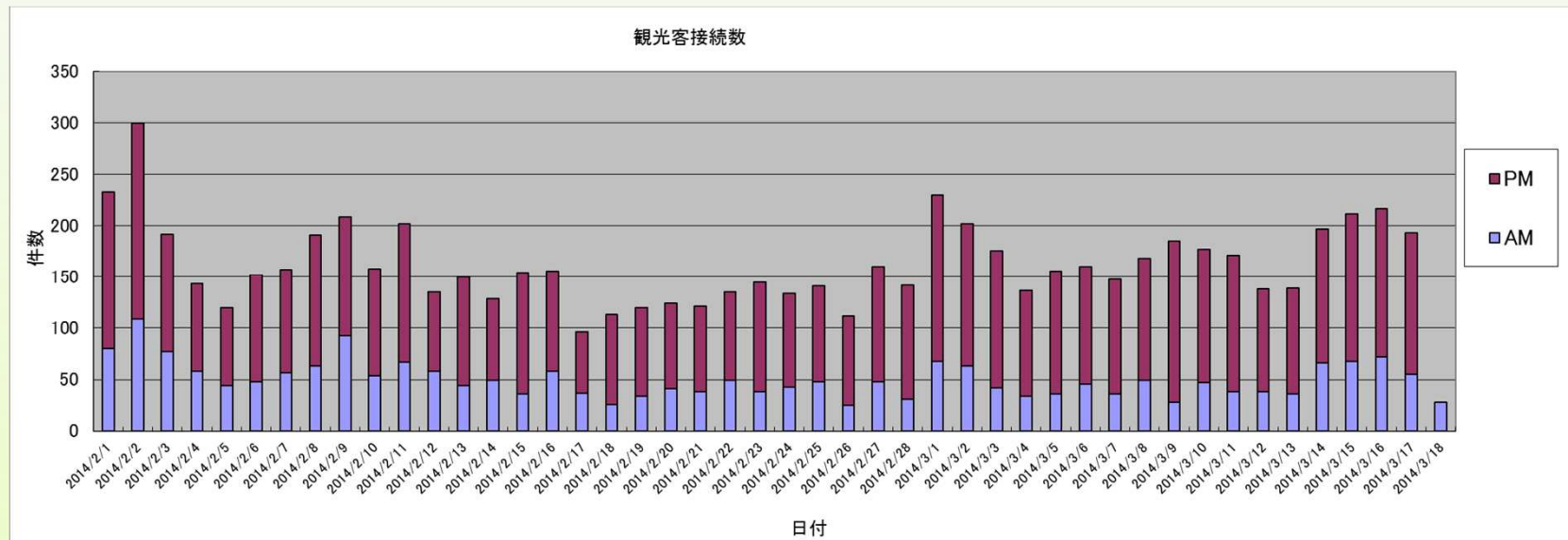


Wi-Fiシステム構築状況



Wi-Fiシステムの利用状況

- 観光客の接続数：1日平均150接続
- 住民の接続数：1日平均70接続（地産地消経済サイクルシステムと高齢者・要援護者支援システムによるアクセス）



Wi-Fiシステムの導入による効果

- **住民向け・観光客向けのICTサービス導入時の通信費の追加投資の回避**
 - 地産地消経済サイクルシステム
 - 高齢者・要援護者支援システム
 - 防災（安心・安全）サービス
 - 観光ARサービス

- **ふるさと納税者の増加**
 - 全島Wi-Fiの報道を受け、3件のふるさと納税の申し出がありました。

- **企業進出の打診**
 - 全島Wi-Fiの報道を受け、1件のIT関連企業の久米島への拠点整備の打診があり、現在検討中となっております。

Wi-Fiシステム上で提供した4つのサービス

"豊麗のしま久米島"地域経済活性化プロジェクト

地産地消経済サイクルサービス



島内で育てられた地元の新鮮な野菜や果物を、安く購入できます。

少量の物流にも対応できるため、生産量の少ない高齢者農家でもホテル・飲食店に農産物を提供できます。

将来的には海産物や畜産物も含め地元物産品の販路を拡大し、地元経済の活性化を実現します。

地産地消
地元のものを地元で消費！

農家・高齢者



発切り品や収穫の多かった野菜を提供

運用管理者



販売・決済・発送取引のサポート

ホテル・飲食店



地元産の野菜を安く購入

"豊麗のしま久米島"地域経済活性化プロジェクト

高齢者・要援護者支援サービス



一人で自宅にいる高齢者を、みんな(保健師・訪問ヘルパー)でタブレットを使って遠隔で見守ります。

TV電話(タブレット)で顔を見ながら保健師とコミュニケーションすることができます。

自宅に居ながらすぐに誰かにつながる安心生活を提供します。

高齢者・要援護者支援
お年寄りをみんなで見守る！

高齢者宅 高齢者



- 毎日の健康情報の登録
- 毎月の問診登録(アンケート)
- 訪問先高齢者の健康情報の登録

遠隔体調管理・お知らせメール



TV電話で相談

● 健康情報の確認

● 問診情報の確認

役場 & 社協 保健師ヘルパー



"豊麗のしま久米島"地域経済活性化プロジェクト

観光ARサービス



スマートフォンで、久米島の観光スポット、お食事処に迷わずご案内します。

スタンプラリーでスタンプを集めると、クーポンや景品がもらえます。

災害時には、防災MAPで避難場所確認、プッシュ一斉配信で情報を素早く受け取れます。

観光AR
久米島のあらゆるスポットを紹介！

ARスタンプラリー



おさんぽAR



記念撮影



防災MAP



クーポン



"豊麗のしま久米島"地域経済活性化プロジェクト

防災(安心・安全)サービス



災害時には防災情報をメールで配信します。ケータイ、スマートフォンでも防災情報を入手できます。

大規模災害時には、**家族の安否確認**(家族の避難先の確認)ができます。島外の方でも利用できます。

様々な日常的な情報もメールで配信します。

- ・行政情報、観光情報
- ・イベント情報、お買い得情報
- ・小中学校PTA情報

安心・安全
日頃から活用して防災に備えを！

地震情報

津波情報

火山情報

気象情報

有事関連情報

メール一斉配信による緊急連絡




防災担当者からメール一斉配信



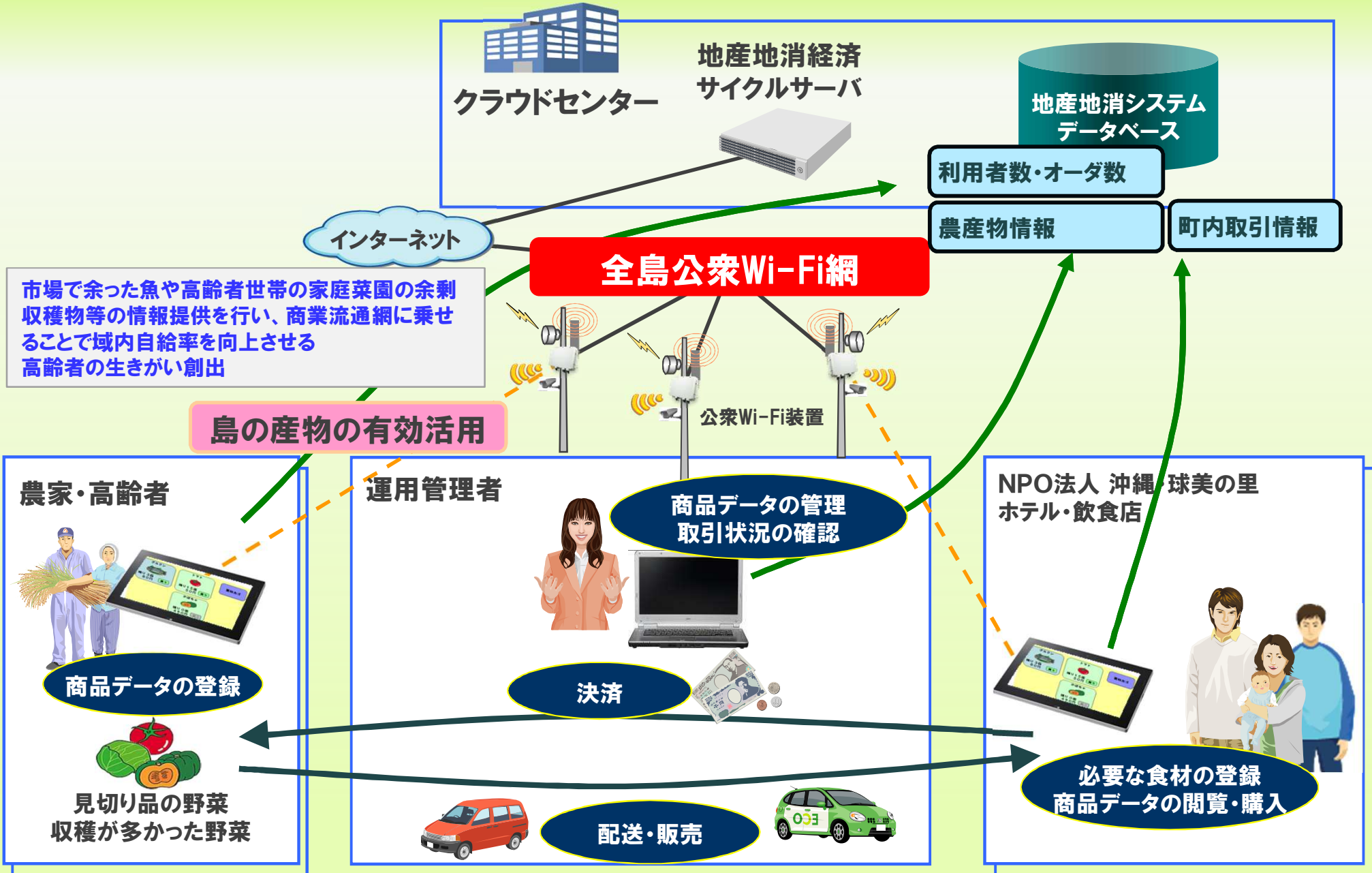
安否確認登録・閲覧

職員



住民

地産地消経済サイクルサービスの概要



地産地消経済サイクルサービスの成果

＜事業成果(期間: 1月10日から3月14日)＞

利用者数: のべ262団体・名(生産者170団体・名、購買者92団体・名)

登録者数: 32名(生産者23団体・名、購買者9団体・名)

取引数: 累計262件(1日当たり平均4.26件)

取引実績: 1月: ¥40,250 2月: ¥113,330 3月: ¥64,730 合計: ¥218,310

これまで、ホテル等で地産地消を進めようとしても購入窓口が限られていましたが、今回の取組によって地産地消の推進のための基礎作りができたと考えられます。また、高齢生産者にとっては、町内唯一の販売先である農協に販売できないB級品を販売できるようになり、一人あたり4000円弱の収入増となっています。今後取引拡大によりさらなる収入増が見込まれると考えます。

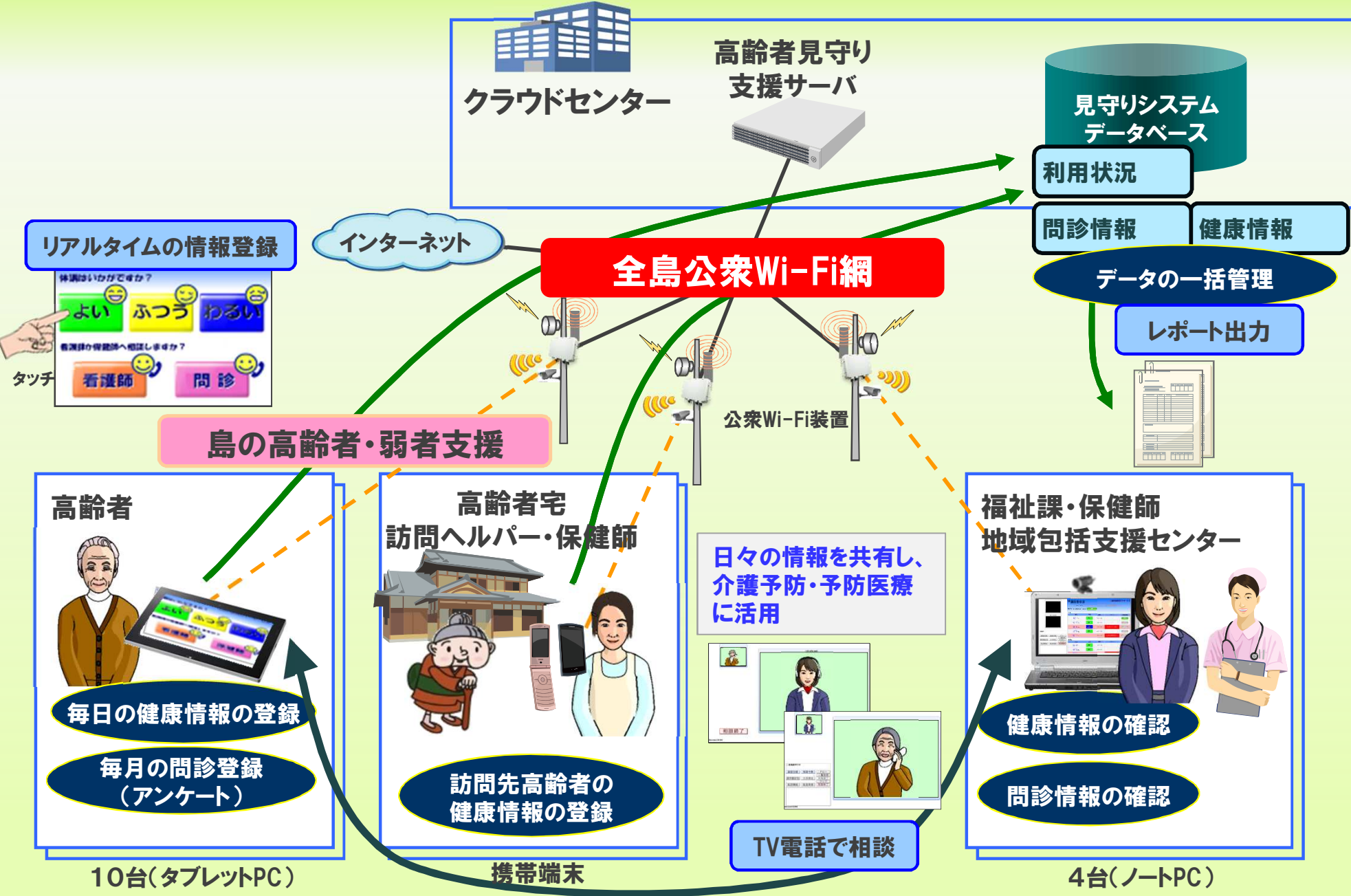
＜課題＞

商品の安定供給のためには、提携する生産農家の拡大と保存設備等の整備が必要となります。

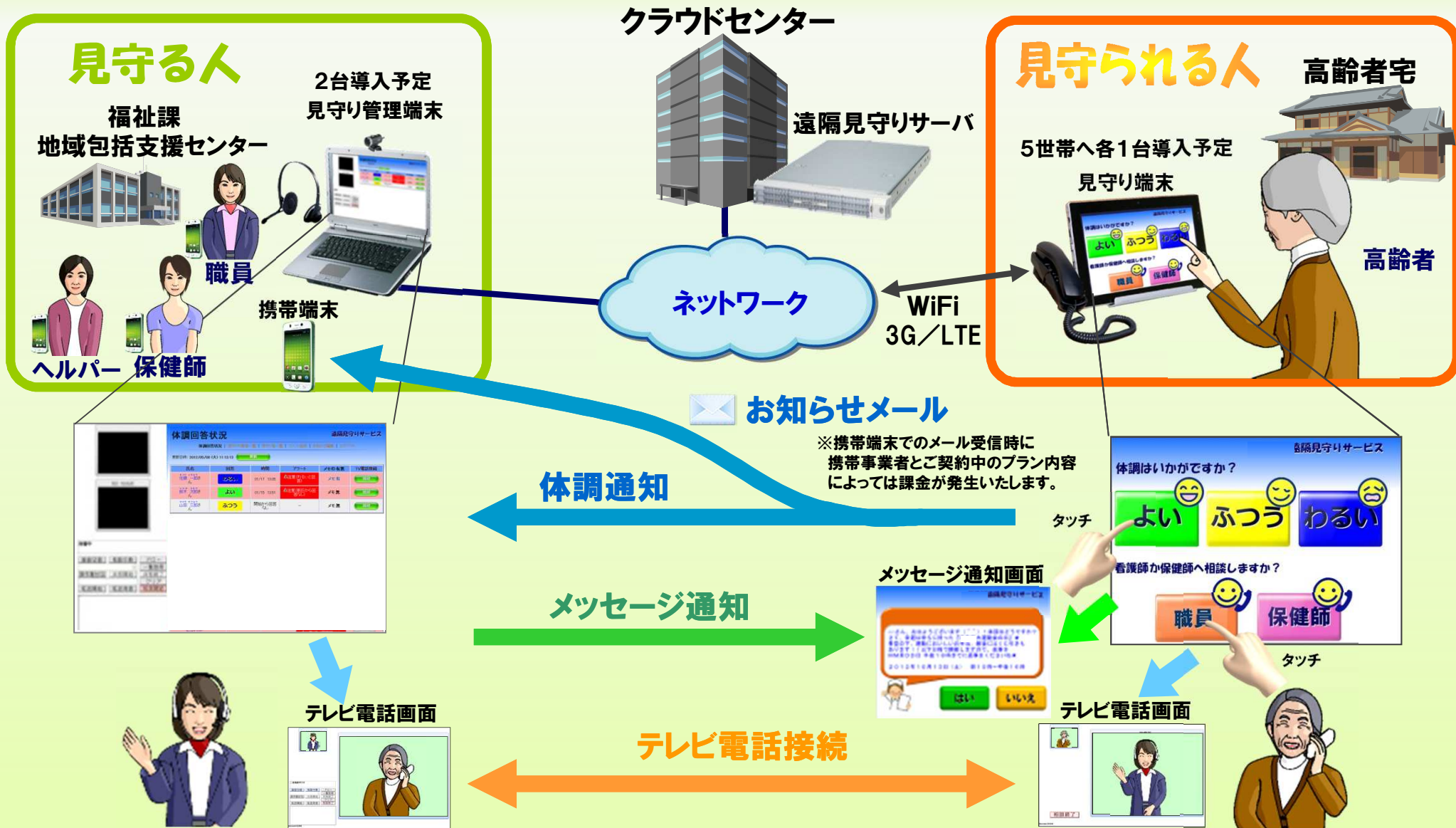
また、事業の自立的運営のためには、取引規模の拡大、取扱い商品の高付加価値化等の対応が求められます。



高齢者・要援護者支援サービスの概要



高齢者・要援護者支援サービスの利用イメージ



高齢者・要援護者支援サービスの成果

＜事業成果(期間: 2月3日から3月14日)＞

支援対象者: 5名

システム利用回数: のべ200回(1日当たり平均5回)

問診回数: 8回実施

久米島町では独居高齢者に週3回電話をする「ふれあいコール事業」を行っていますが、当サービスによって高齢者の安否と体調確認が高い頻度(毎日)で手軽に確認できるようになりました。また、その確認した情報を見守る側の関係者間で情報共有することができるようになり、結果として高齢者の見守り体制が強化されたと考えられます。

＜課題＞

高齢者の介護度の改善や健診結果の改善の検証には長期での観察が必要となります。

医療機関とも情報共有を行うことで、より安心安全な町ぐるみの見守り体制が構築できると考えられます。

タブレットだけでなく、スマートフォンでもできるようにすることで、支援対象者を増やすことが容易に可能となると考えられます。

【参考】高齢者・要援護者支援サービスの利用状況

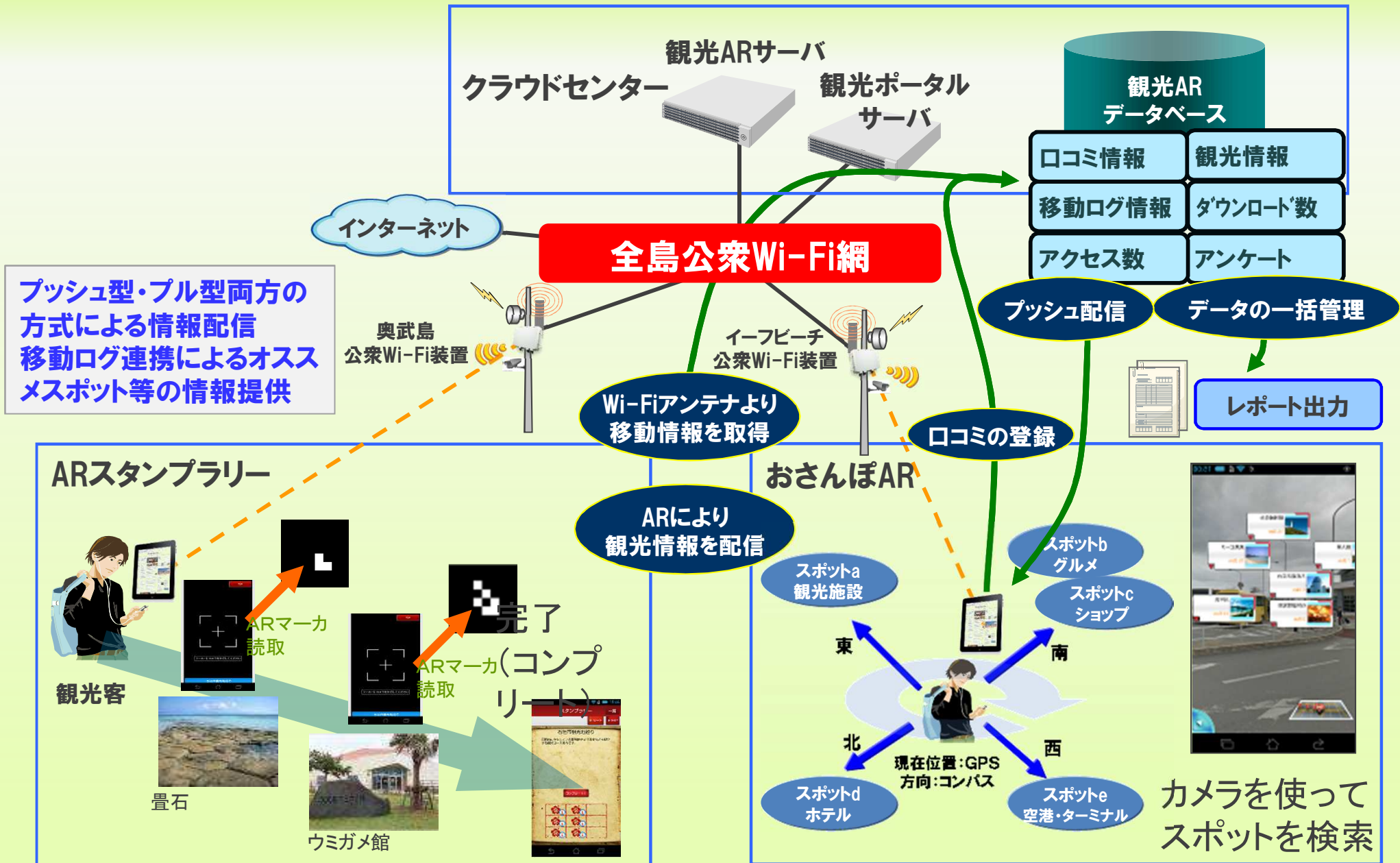
体調回答状況 (対象者のほぼ回答中)

久米島見守り実態調査

調査項目	種別別名	2月3日	2月4日	2月5日	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日	2月11日	2月12日	2月13日	2月14日	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日	2月20日	2月21日	2月22日	2月23日	2月24日	2月25日	2月26日	2月27日	2月28日	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日	3月5日	3月6日	3月7日	3月8日			
・体調回答状況	Ａさん	よい08:50 よい08:52		代よ12:31	よい11:39			よい09:10	よい09:10	よい09:20	よい09:34 よい14:04	よい14:02					よい09:39	よい09:54 よい09:56	よい10:39	よい13:27				よい09:29 よい09:30	よい08:56	よい10:52 よい10:54								よい13:46				
	Ｂさん	よい09:20	わる18:06	代よ12:28 よい15:19 よい15:20	よい12:02	よい17:42	よい09:43 よい17:36 よい19:25 よい19:26 よい21:20	よい12:49 よい13:16 よい14:19 よい19:33 よい20:05 よい21:21	よい07:11 よい16:49 よい19:33 よい17:03	長工19:00	ふつ15:04 わる15:09 よい15:10	よい12:48 よい15:07 よい16:02 よい18:55 よい19:07 よい20:35					よい09:49 よい12:26 よい13:06 よい16:24	よい11:12 よい21:24 よい17:30	よい18:44 よい21:30	よい05:04 よい08:20 よい17:37	よい21:49	よい08:04 ふつ11:14 よい18:03 ふつ21:06	よい05:30 よい17:10 よい18:35 よい20:36 よい21:19	よい07:28 よい17:54 よい19:32 よい20:36 よい21:26 よい21:19	よい10:03 よい11:34 よい11:35 よい13:57 よい17:08 よい19:31 よい21:25	よい13:43 よい11:41 よい19:49	よい09:43 よい16:26 よい21:11	よい10:32 よい10:33 よい11:41 よい12:53 よい16:05	よい07:20 よい16:57 よい11:25 よい12:51 よい16:05	よい08:53 よい08:32 よい14:15 よい21:08								
	Ｃさん	ふつ14:25		よい10:33			ふつ08:51	ふつ09:47	長工11:24	ふつ11:13 ふつ14:03	停止中										ふつ08:10	ふつ06:05	ふつ06:22		ふつ06:30	ふつ06:28	ふつ06:42	ふつ06:34	ふつ06:37	ふつ06:28	ふつ06:28	ふつ06:28	ふつ06:28	ふつ06:28	ふつ06:28	ふつ06:28	ふつ06:28	ふつ06:28
	Ｄさん	よい08:41	よい09:16		よい11:56	わる08:04 よい08:05	よい08:13	よい08:07	よい08:19	よい08:27	よい08:33	よい09:09	長工11:00 よい11:33				よい08:44	よい08:32	よい08:27	よい08:04	よい08:11	よい08:20				よい13:40	よい08:08	よい08:06	よい08:42	よい08:15				よい07:42	よい07:57	よい08:15		
	Ｅさん	よい15:15	よい09:01 よい09:03 よい10:05	よい09:19	ふつ08:58	よい10:20	よい08:09	よい09:09	よい09:35		長工11:24 よい14:31	よい09:20	よい10:19	よい08:42	よい08:48	ふつ09:03	よい09:14								よい16:48	よい08:15	よい08:34	よい08:56	よい09:24	ふつ09:14	よい11:16	ふつ09:12	よい09:08	ふつ09:20				
・代理回答状況	Ｆさん				ふつ17:19																																	
・TV電話状況	Ｇさん				ふつ17:18																																	
	Ｈさん				ふつ17:20																																	
	Ａさん																																					
	Ｂさん																																					
	Ｃさん																																					
・問診状況	送信時間			問3:16:20 ～17:30 全員へ	問2:9:00 ～17:30 全員へ	問4:8:30 ～16:30 全員へ																																
	Ａさん																																					
	Ｂさん				問2:15:18 はい	問4:12:02 はい																																
	Ｃさん				問2:10:05 はい																																	
	Ｄさん				問2:11:54 はい	問4:16:30 未回答																																
Ｅさん			問3:17:30 はい	問2:12:26 はい	問4:10:20 はい																																	
・メッセージ状況	送信時間									メ2:8:50 ～17:00 Ｂさんのみ		メ1:14:00 ～17:30 全員へ																										
	Ａさん											メ1:14:04 はい																										
	Ｂさん									メ2:17:00 未回答		メ1:15:09 はい																										
	Ｃさん											メ1:14:14 はい																										
	Ｄさん											メ1:17:06 はい																										
Ｅさん											メ1:16:38 はい																											

問診対応状況 (問診・メッセージの実施)

観光ARサービス概要



観光ARサービスの成果

<事業成果(期間: 11月8日から3月14日)>

累計ダウンロード数:526件

スタンプラリーコンプリート数:49件

いいねボタン押下数:75件

観光スポット閲覧数:474件

観光ポータルサイトアクセス数:5713回(3月2日の1日間)

久米島町訪問者数:11月:3,398人、12月:3,510人、1月:4,617人、2月:5,620人
(※11月以降、例年は3月まで減少するところが増加傾向となっております。)

実際の効果測定や観光での本格利用は今後となりますが、沖縄のガイドブックにおいて掲載情報量が少ない久米島において、観光客に訴求するためのローカルなメディアを構築することができたと考えられます。これを今後の久米島観光の新しい魅力とし、観光客を誘致し、観光消費額を増やす手段として活用します。

<課題>

スマートフォンアプリを観光客にダウンロードさせる仕組み作りを行う必要があります。

住民にも観光ARサービスを利用してもらうための取組を行うことで地域の活性化に活用していく必要があります。

【参考】観光ARサービスの広報活動

右図のようなチラシを空港、ホテルなどに設置して周知をしております。

観光ARサービス
久米島のあらゆるスポットを紹介！

スタンプラリーで
集めるゲット

おさんぽAR

ARスタンプラリー

おさんぽAR

記念撮影

防災MAP

クーポン

ARアプリを
使った
記念撮影

MAPを
検索して
案内

クーポンを
ゲット！

ARアプリのインストール方法

iPhoneの場合

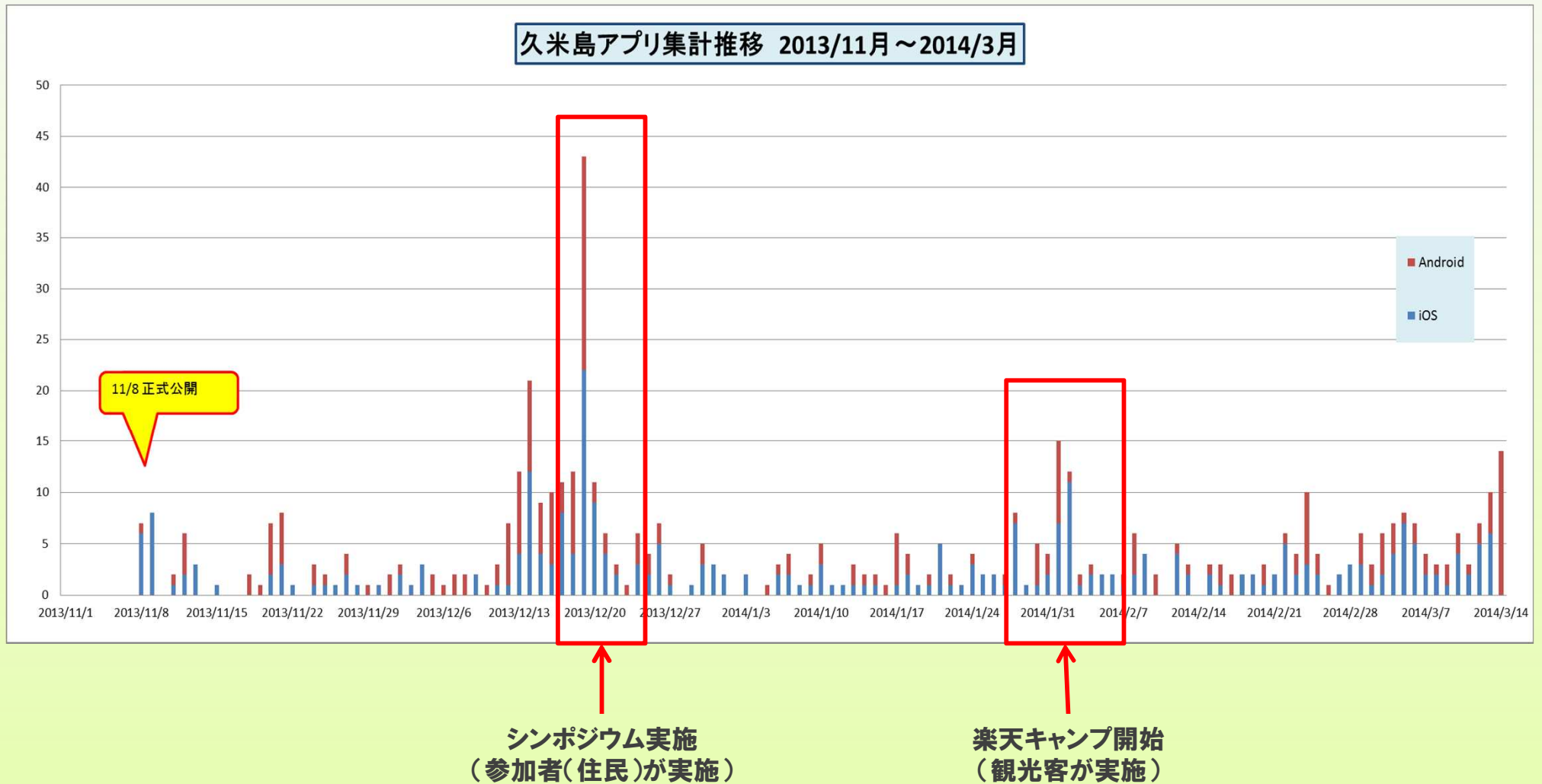
- 1 「APPストア」から
- 2 「久米島観光ナビ」で検索
- 3 インストールボタンを押してインストール。

Androidの場合

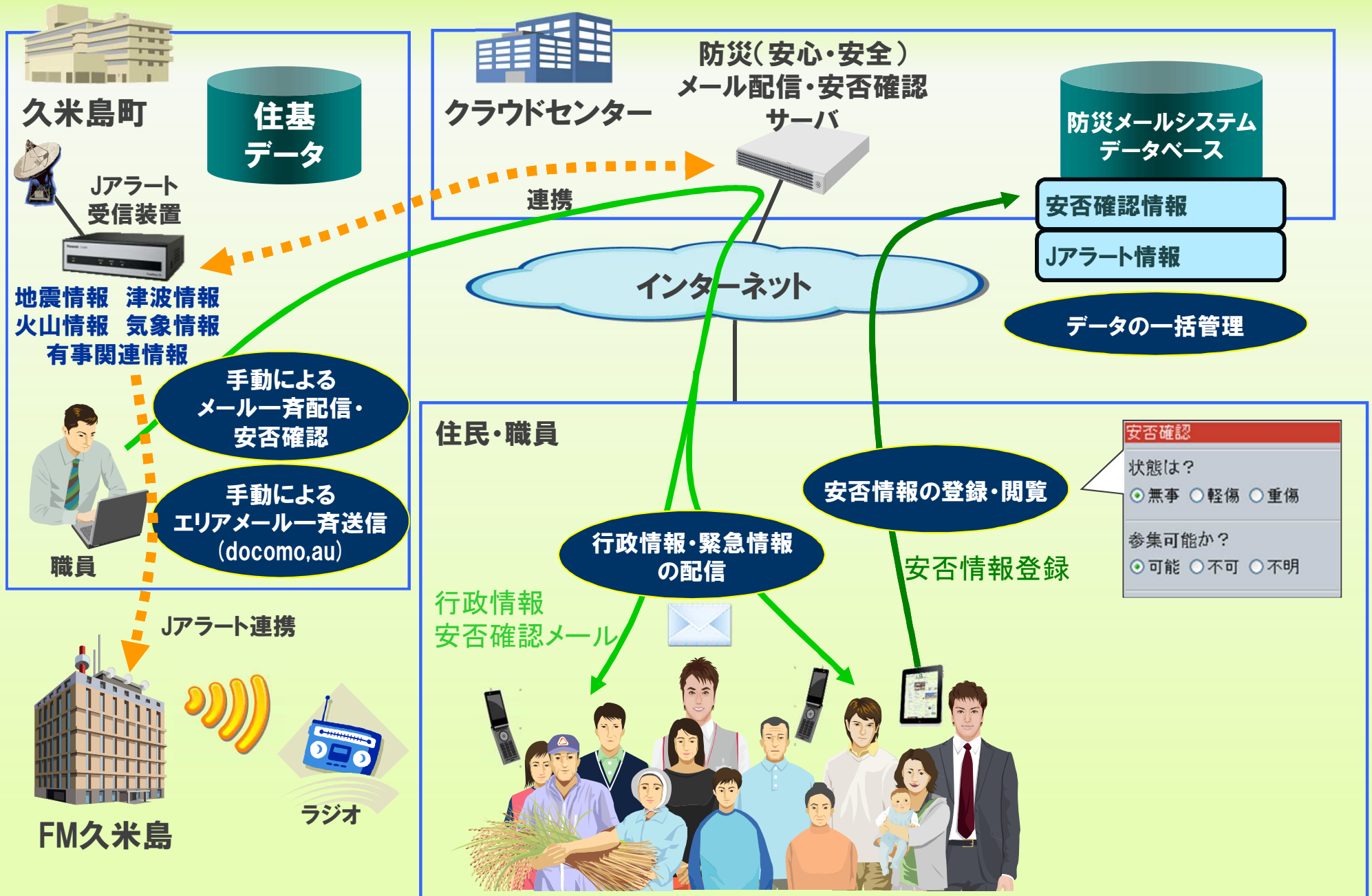
- 1 「Playストア」から
- 2 「久米島観光ナビ」で検索
- 3 インストールボタンを押してインストール。

豊麗のしま久米島 地域活性化プロジェクト

【参考】観光ARサービスの利用状況



防災（安心・安全）サービスの概要



防災（安心・安全）サービスの成果

＜事業成果(期間：12月13日から3月14日)＞

利用者登録数：100件（現在、学校や公民館での周知のためのセミナー開催中）
メルマガ及び安否確認の発信件数：稼働後の平均 1.3件/月

実際の効果測定や防災訓練での利用は今後となりますが、これまで電子メールによる情報配信の手段を持っていなかったため、このサービスの整備により新たな住民、観光客への情報伝達手段を追加で確保することができたと考えます。これを防災無線の内容のメールでの配信や緊急情報、その他のお知らせ情報の配信に活用していきます。

＜課題＞

サービスの周知活動の実施開始が遅れたため、利用登録数が少ない状況となっている。しかしながら、平時においては学校における学校と保護者間の連絡手段として活用したいとの町内小中学校からの申し入れがあり、現在各学校での説明会を開催している状況です。

【参考】防災（安心・安全）サービスの広報活動

右図のようなチラシを町内全戸に配布。

防災メールの利用登録をしましょう!

メルマガ登録すると各種情報が届きます!

●行政情報
●イベント情報

行政情報

携帯電話
スマートフォン

イベント
情報

登録は簡単

登録手順

1 携帯電話・スマートフォンもしくはパソコンで、下記のメールアドレスまたはQRコードから空メールを送信します。
p-a9479565@mms02.okinawacloud.com

2 登録用メールが送信されてきたら、メールにあるURL(アクセス先)をクリックします。

3 登録画面から氏名・連絡先を入力し、必要な情報を選択して送信(登録)をして下さい。登録が完了するとメール送信されます。

久米島町役場のホームページにも掲載されています。

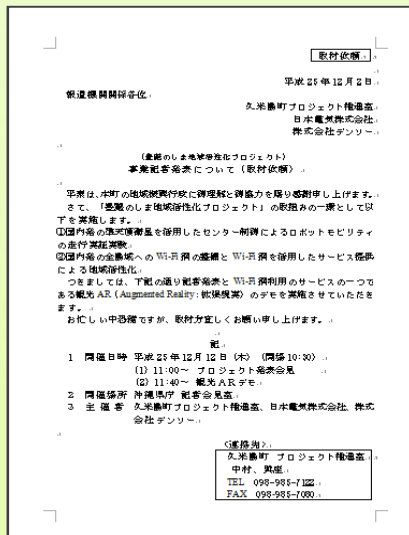
事業広報活動

事業の住民向けの周知と対外的なPRとして、以下の広報活動を実施しました。

- 記者会見（県庁記者クラブ） 平成25年12月12日
※報道各社へ事業を説明、当日・翌日報道済み
- タイムスフェア出展（タイムスビル） 平成25年12月13日～12月15日
- シンポジウム（具志川農村環境改善センター） 平成25年12月19日
- 住民説明会（具志川農村環境改善センター） 平成26年2月12日
（久米島町役場仲里庁舎） 平成26年2月13日

※現在学校説明会を実施しています。
 （教職員に対しての説明・登録促進のみ）

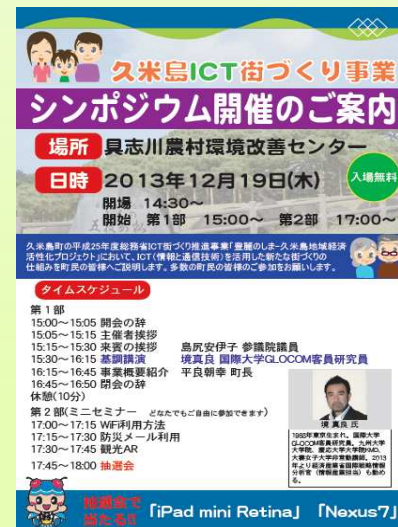
記者会見(依頼文)



タイムスフェア



シンポジウム



プレスリリース

平成25年12月12日 記者会見(県庁記者クラブ)

【記者会見の様子】



【琉球新報(12月13日)】

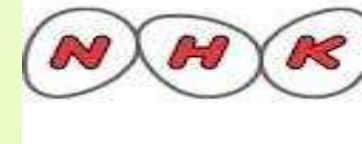


【沖縄タイムス(12月13日)】



【NHKニュース(12月12日)】

18時台に沖縄枠での放送



イベント実施状況

平成25年12月13日～12月15日
タイムフェア出展(タイムスビル)



平成25年12月19日 シンポジウム(具志川農村環境改善センター)

【基調講演】



【事業概要紹介】



【ミニセミナー】



【各ブースでの事業説明】



シンポジウム開催状況

12月19日(木)に以下の要領にてシンポジウムを開催

日時:平成25年12月19日(木) 15:00~17:00 (開場:14:30)

場所:具志川農村環境改善センター

内容:第1部

- ・主催者挨拶
- ・来賓挨拶
- ・基調講演
- ・事業概要紹介

第2部

- ・ミニセミナー開催
 - ・公衆Wi-Fi
 - ・防災メール
 - ・観光AR
- ・各ブースでの事業説明
 - ・地産地消経済サイクル
 - ・高齢者・要援護者支援システム
 - ・観光AR
 - ・防災メール

シンポジウムのチラシ

久米島ICT街づくり事業
シンポジウム開催のご案内

場所 具志川農村環境改善センター

日時 2013年12月19日(木) **入場無料**
開場 14:30~
開始 第1部 15:00~ 第2部 17:00~

久米島町の平成25年度総務省ICT街づくり推進事業「豊麗のしま-久米島地域経済活性化プロジェクト」において、ICT(情報と通信技術)を活用した新たな街づくりの仕組みを町民の皆様へご説明します。多数の町民の皆様のご参加をお願いします。

タイムスケジュール

第1部
15:00~15:05 開会の辞
15:05~15:15 主催者挨拶
15:15~15:30 来賓の挨拶 島尻安伊子 参議院議員
15:30~16:15 基調講演 境真良 国際大学GLOCOM客員研究員
16:15~16:45 事業概要紹介 平良朝幸 町長
16:45~16:50 閉会の辞
休憩(10分)

第2部(ミニセミナー どなたでもご自由に参加できます)
17:00~17:15 WiFi利用方法
17:15~17:30 防災メール利用
17:30~17:45 観光AR
17:45~18:00 抽選会

境真良氏
1988年東京生まれ。国際大学GLOCOM客員研究員、九州大学大学院、慶応大学大学院MBA、大妻女子大学非常勤講師。2013年より経済産業省国際戦略情報分析室(情報産業担当)も勤める。

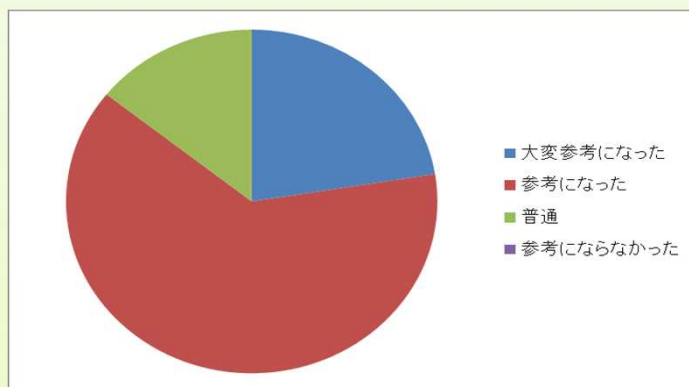
抽選会で当たる!! 「iPad mini Retina」 「Nexus7」

参加者数：約300名 (第1部の名簿記載者：175名)

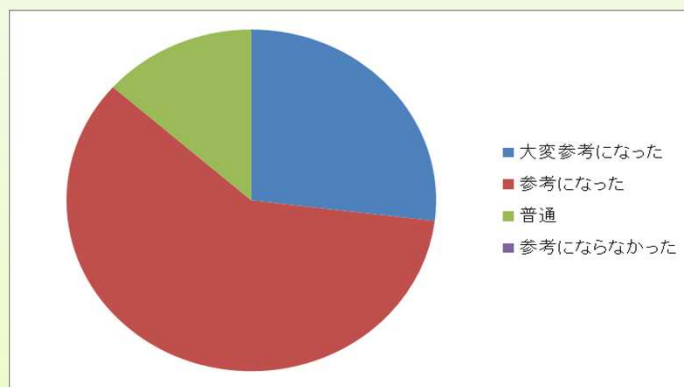
シンポジウムアンケート結果

シンポジウムはICT街づくり事業の実施内容の周知を目的として行いましたが、目標としていた約300名の参加を得られただけでなく、参加者へのアンケート(回答数67件)結果では、いずれの内容も85%以上の方から「大変参考になった」、「参考になった」という回答を得ることができ、一定の成果を得られたものと思われま

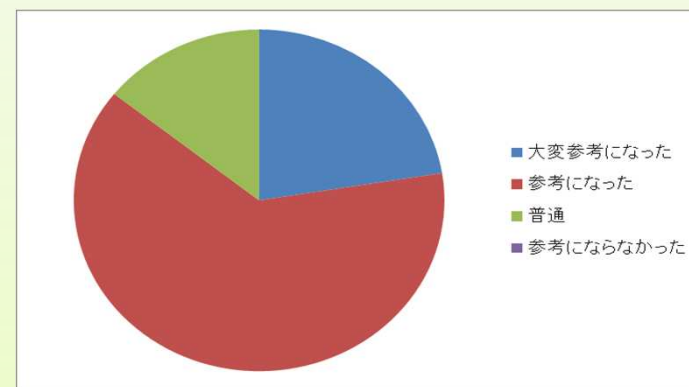
基調講演について



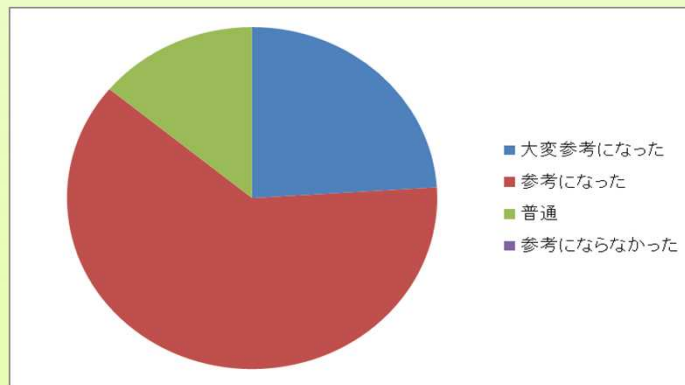
町長による事業概要紹介について



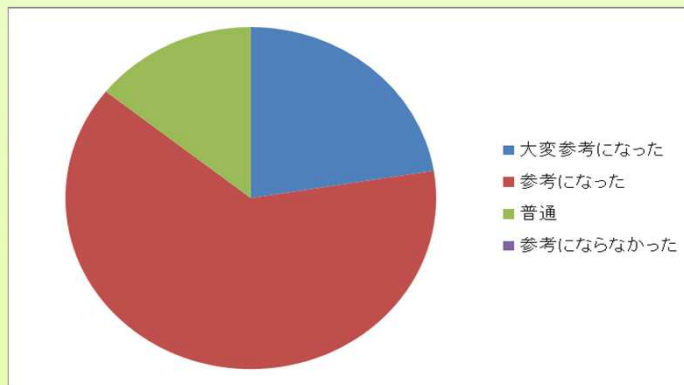
展示内容全般について(平均値)



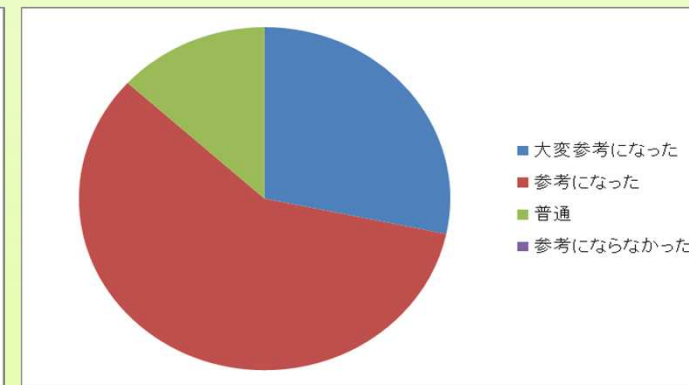
ミニセミナー(Wi-Fi利用方法について)



ミニセミナー(防災メール登録)



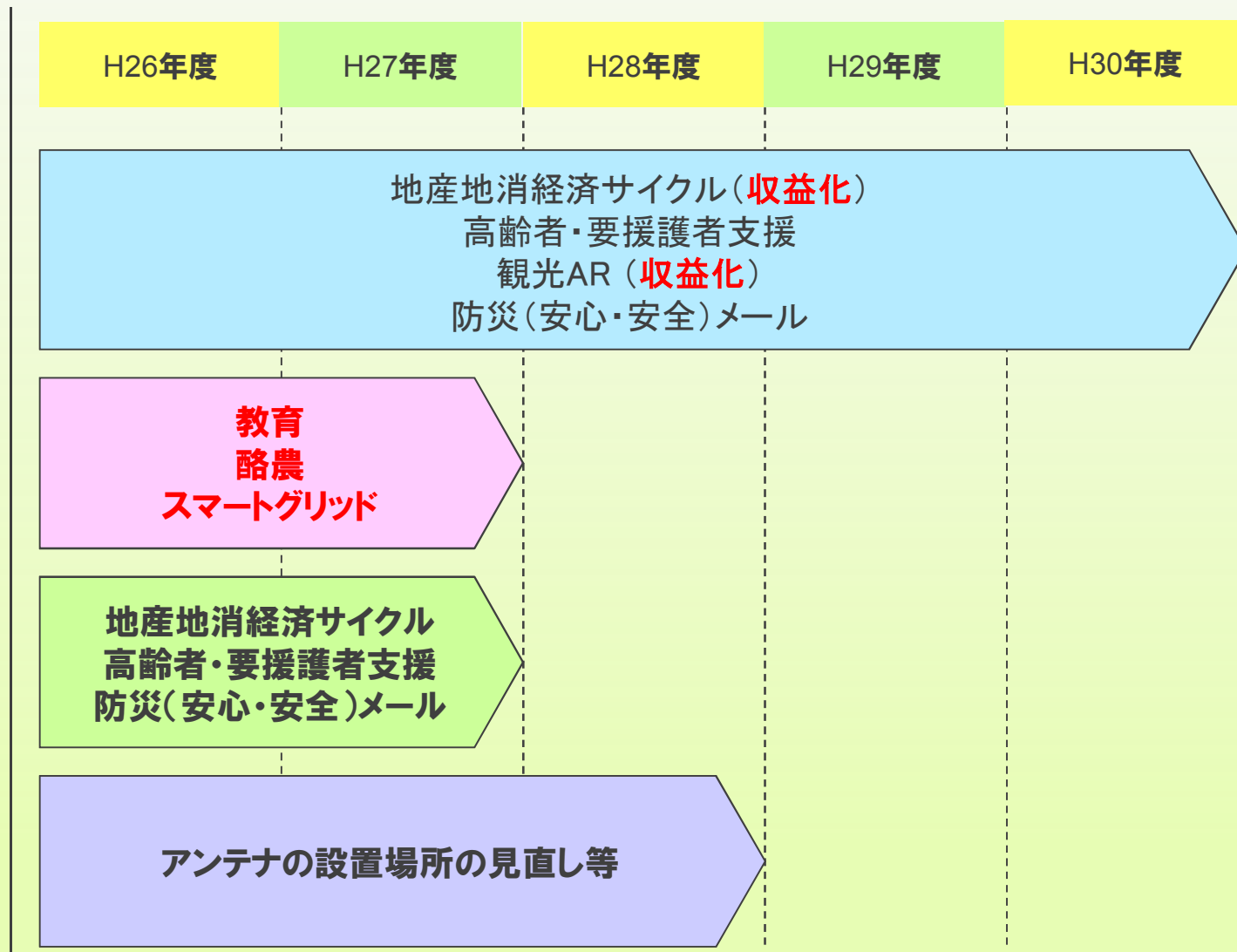
ミニセミナー(観光ARについて)



今後の取組

次年度以降の事業実施方針

H25年度に構築したサービスをH26以降も継続して機能拡張しつつ利用促進を図っていきます。地産地消経済サイクルと観光ARについては、合わせて事業の収益化を目指します。



次年度の運営体制

H26年度は、主にH25年度に構築した事業の本番稼働とより効果的な事業遂行のためのプロモーション活動を中心にシステム強化(新規機能追加、見直し)を行います。そのため久米島町と民間団体が一体となった体制案を以下に示します。

全体運営 :久米島町役場から外部委託(FMくめじま / 外部委託業者)

地産地消経済サイクル :NPO法人くめじま

- ・システムの運営(商品回収、商品配達、会計、代行処理(電話受付))
- ・新商品開発
- ・生産者と購買者の追加(端末等の配布、サービスの説明)

高齢者・要援護者支援 :福祉課

- ・システム運用(状況確認、問診対応、テレビ電話対応、代行入力)
- ・対象者の拡大(端末等の配布、サービスの説明)

観光AR

:観光協会

- ・システム管理(スポット、スタンプラリー、クーポンなどのメンテナンス)
- ・プロモーション活動(広報、イベント企画)
- ・イベント対応(特設コースなどの実施、景品等の用意)

防災(安心・安全)メール:総務課

- ・システム運用
(メルマガ配信、緊急時(台風、地震)の安否確認メール配信と状況確認)
- ・利用者管理(新規利用者の登録・削除等)

公衆Wi-Fi

:プロジェクト推進室 / 機器保守業者

- ・システム運用(住民向け申請受付と処理、システム稼働確認と障害対応)
- ・アンテナ拡大(新規アンテナの設置検討、工事等の立ち合い)

その他

- :教育委員会・各小中学校、久米島高校
- ・学校に関する調整役及びメルマガ運営、利用者促進)

NEC

- ・システム拡張の検討・構築とシステム運用支援

【参考】次年度の運営体制案

